

プログラム

招待作曲家と参加作曲家によるトークセッション Talk Session 11:00 -12:30 (10:45開場)

トークセッションは入場無料

演奏会 Concert 1 13:30開演(13:00開場)

増田真結 (京都市立芸術大学・神戸女学院大学)
縹渺想定線 I (2011)
箏：中川佳代子 チェロ：大西泰徳

岡田加津子 (京都市立芸術大学)
full moon(2010)
箏：福原左和子

大慈弥恵麻 (相愛大学・IAMAS)
線香花火～箏独奏のための～ (初演)
箏：渡邊香澄

渡辺さとみ (大阪音楽大学)
<雲の峰>～箏ソロのための～ (初演)
箏：林美音子

ジョシュア・チャン (香港、アジア作曲家連盟会長・香港大学)
南風 (初演)
箏：麻植美弥子 麻植理恵子 フルート：江戸聖一郎

和泉耕二 (大阪音楽大学)
深い悲しみの中で (初演)
箏：平田紀子 ヴァイオリン：中村公俊

池上敏 (山口大学)
ラメント2011 (初演)
箏：中村あゆみ

田島亘 (大阪音楽大学)
島田陽子の詩による鎮魂歌「もう少しここに」 (2011)
二十五絃箏：横山佳世子 ソプラノ：井上今日子

廣瀬量平 (初代日本伝統音楽研究センター所長・京都市立芸術大学)
夢幻砧～五段砧による変容
箏：深海さとみ

演奏
箏：深海さとみ・麻植美弥子・福原左和子・中川佳代子・横山佳世子
・林美音子・麻植理恵子・平田紀子・渡邊香澄・中村あゆみ
クラムジカ：西垣正信・井上今日子・江戸聖一郎・大西泰徳
・中村公俊・中井絵理

※関西圏にお住まいの小中学生の親子25組をご招待いたします。
ご希望の方はハガキに保護者の氏名・住所・希望枚数(1組4名まで)をご記入の上、
オフィス・ミュージックメッセージまでお申し込み下さい。
お申し込みは12月26日(月) 必着で、ご希望多数の場合は抽選といたします。
なお、結果は発送をもって代えさせていただきます。
オフィス・ミュージックメッセージ[担当：柳楽正人]
mail: musicmessage@moo21.com / mobile: 090-3874-0842

演奏会 Concert 2 17:00開演(16:30開場)

中村典子 (京都市立芸術大学)
青渡絲韻～打楽器を伴う二面の十七絃のための (初演)
十七絃箏：麻植美弥子 麻植理恵子

清水慶彦 (京都市立芸術大学・同志社女子大学)
五つの形象 (初演)
21絃箏：中川佳代子 チェロ：大西泰徳

若林千春 (滋賀大学)
玉響(たまゆら)...monmentariness VI (初演)
箏：林美音子

パク・ウンハ (韓国、秋季芸術大学・韓英神学大学)
ノアの方舟 (初演)
箏：横山佳世子 ヴィオラ：中村公俊 クラリネット：中井絵理

南川弥生 (大阪音楽大学)
幻月～二面の箏のための～ (初演)
箏：平田紀子 渡邊香澄

カルロ・フォルリヴェジ (イタリア、国立カリヤリ音楽院)
孤独と静寂の中へ～箏とギターのための (2007)
箏：麻植美弥子 ギター：西垣正信

熊谷美紀 (大阪成蹊短期大学・大阪音楽大学)
一条戻橋 ～箏独奏のための～ (2011)
箏：福原左和子

松下功 (日本作曲家協議会副会長・東京藝術大学演奏藝術センター)
二つの万葉歌～あしひきの～ぬばたまの～ (2008)
箏：深海さとみ



「アジアの箏の現在」

クラムジカ第6回公演

2012年1月8日(日)
京都市国際交流会館イベントホール

トークセッション：11:00～12:30

演奏会1：13:30～ (13:00開場)

演奏会2：17:00～ (16:30開場)

主催：クラムジカ

協力：田波楽器株式会社

後援：日本作曲家協議会 日本現代音楽協会

入場料：演奏会各回 一般2000円 (当日2500円)
☑ 学生・シルバー 1000円 (当日1500円)
☑ AB通し券 一般3000円 (当日4000円)
☑ 学生・シルバー 1500円 (当日2000円)
☑ ＊前売券の販売完了の折は当日券販売はなし
☑ ＊トークセッションは入場無料

チケット予約&お問合せ：musicmessage@moo21.com
オフィス・ミュージックメッセージ[担当：柳楽正人]
mobile：090-3874-0842
〒665-0816 兵庫県宝塚市平井1-8-3 TEL&FAX 0797-51-3935

"KOTO, present in Asia" International Modern Music Festival [6th concert of clumusica]
clumusica (クラムジカ・不器用な音楽) は二〇〇八年の創立以来、地と真に結んでゆくことを表現の核に据え、アジア圏の活発な現代音楽創造の基点のひとつたらしめ、すべての世代すべての地域の作曲家と演奏家の協創を活動の指針に活動し、第六回を迎えます。
今回は日本各地の作曲家、香港・韓国・イタリアの作曲家による日本の伝統楽器・箏の新作・傑作によるアジアの現在を京都よりお届けいたします。

箏 KOTO

January 8th, 2012
Kyoto International Community House
Event Hall

KOTO, present in ASIA

International Modern Music Festival

6th concert of clumusica

Guest Composers:

Joshua Chan (Chair of Asian Composers League,HongKong University)
Southern Wind (premiere)

Carlo Forlivesi (The National Conservatory of Music,Cagliari,Italy)
En la Soledat i el Silenci (2007-2008) for hyper-tempered 13-string koto and guitar

Ryouhei Hirose (Founder & Head of Research Centre for Japanese Traditional Music, KCUA)
MUGENGINUTA

Isao Matsushita (Vice-Chair of Japan Federation of Composers,Tokyo University of Arts and Music)
Two MANYO Songs "ashihikino" "nubatamano"

Eun-ha Park (Chugye University for the Arts, Hanyoung thological University)
Noah's Ark (premiere)

Participate Composers:

Satoshi Ikegami (Yamaguchi University)
LAMENTO 2011(premiere)

Koji Izumi (Osaka Collage of Music,Kyoto City University of Arts)
from my Deep Sorrow (premiere)

Miki Kumagai (Osaka Seikei Collage,Osaka Collage of Music)
ICHIJYOMODORIBASI for Koto solo(premiere)

Mayu Masuda (Kyoto City University of Arts,Kobe Collage)
imaginary line 1 (2011)

Mio Minamikawa (Osaka Collage of Music)
Paraselene for Koro duo (premiere)

Noriko Nakamura (Kyoto City University of Arts)
QINGDUSIYUN for two 17-gen with percussion (2011)

Emma Ojimi (Soai University)
"a sparkle" for Koto solo (premiere)

Kazuko Okada (Kyoto City University of Arts)
full moon (2010)

Yoshihiko Shimizu (Kyoto City University of Arts,DOSHISHA Women's Collage of Liberal Arts)
Five Forms (premiere)

Wataru Tajima (Osaka Collage of Music)
Song of sorrow on the poetry by Yoko Shimada (2011)

Chiharu Wakabashi (Shiga University)
TAMAYURA - momentariness - (premiere)

Satomi Watanabe (Osaka Collage of Music)
The Peaks of Clouds - for koto solo - (premiere)

Koto Players: Satomi Fukami, Miyako Oe, Sawako Fukuhara, Kayoko Nakagawa, Kayoko Yokoyama, Mineko Hayashi, Rieko Oe, Kasumi Watanabe, Noriko Hirata, Ayumi Nakamura **with clumusica:** Masanobu Nishigaki, kyoko Inoue, Seiichiro Edo, Yasunori Onishi, Kimitoshi Nakamura, Eri Nakai

深海さとみ（箏）幼時より祖母深海澄子に箏の手ほどきを受け、のち宮城喜代子（人間国宝）、宮城数江両師に師事す。1973年東京芸術大学音楽学部邦楽科卒業在学中、宮城会全国コンクール1位入賞。1975年東京芸術大学大学院修士課程修了第1回リサイタル開催。以後演奏活動に入る。1983年昭和58年度文化庁芸術祭優秀賞受賞。1985年第6回松尾芸能賞受賞。1987年オリジナルLPレコード＜箏幻想＞（日本クラウン）発表。昭和62年度文化庁芸術作品賞受賞。1993年のこ年より東京芸術大学講師を務める。1994年40周年記念リサイタルを全国にて開催。1995年全米九都府コンサートにて好評を博す。1996年カンヌ、スイス音楽祭参加。宮城会全国コンクール作曲部門入賞。1997年カナダ四都市公演開催。1999年全古典による三枚組CD「深海さとみ箏曲地歌集」（日本クラウン）発売。2000年「古典を現代に」と題するリサイタルを開催以後、演奏・作曲・教授活動と同時に数々の古典の手付を行う。現在、東京芸術大学講師、宮城社大師範、深海邦楽会主宰。

麻植美弥子（箏）京都市出身。祖母大仲勝子の手ほどきを受け、3歳より箏を始める。吉崎克彦氏に師事。NHK邦楽オーディション合格。長谷校検定全国邦楽コンクール専部門第1位優秀賞、平和堂財団芸術奨励賞（音楽部門）、京都芸術祭音楽部門京都市長賞受賞ほ か、受賞歴多数。各地でリサイタル開催。中島貞夫監督監修DVD「茶の湯」、舞台「横笛」等に音楽で参加、好評を得る。国内外のアーティストとのジャンルを越えたセッション等、多彩な演奏活動をイタリア、フランス、韓国、シンガポールなど国際的に展開。現代曲の初演も数多く手がける。アジア的な広がりを持つシームレスな音楽世界の扉を開き続け、日本刀のような切れ味の見事な表現の冴えは宇宙的なスケール感をもって聴くものに迫ると評される。ムジカA国際音楽協会会員。NHK交響楽団フルート奏者菅原潤氏とCD「Collaboration」リリース。

福原左和子（箏）幼少より叔母水島光代に手ほどきを受け、故菊月秋栄、野田弥生、故沢井忠夫、沢井一恵、故久木元尚子の各師に師事。同志社大学経済学部卒業後、NHK邦楽技能者育英会31期卒業。1988年デビューリサイタル。1984年オーストラリア、89年モロッコ、アルジェリア、チュニジア、イラク、90年中国各地、台湾、香港、92年スペイン公演。1994年伏見の清酒「京の文化賞」奨励賞。96年インド、ヨルダン、シリア、レバノン、97～98年アメリカコンサートツアー。2000～02年京都3年連続リサイタル。00～07年香港二夜連続リサイタル。05年イタリア公演。京都府文化奨励賞受賞。06年文化庁芸術祭新人賞。07年ブルガリアでソフィアフィルと箏コンチェルト世界初演。09年ブルガリアで再演。平成10年度文化庁芸術インターナংশップ研修員。

中川佳代子（箏）高崎芸術短期大学卒業。NHK邦楽技能者育成会卒業。1989年 CD「沢井忠夫合奏団の世界」が文化庁芸術作品賞受賞。1994年青山音楽賞受賞。1998年文化庁芸術研修員認定。2002年賢順全国箏曲コンクール最高位「賢順賞」受賞。海外において2007年アジアツアー（文化庁助成公演）2008年モスクワ、サントクペテルブルグにてソロ公演、韓国晋州国際交響楽団定期演奏会に 20 絃ソリストとして招かれるなど公演多数。現代曲の初演、洋楽器やダンスとの共演など活動範囲は広い。箏、三絃を沢井忠夫氏、沢井一恵氏、岩堀敬子氏、20絃を吉村七重氏に師事。沢井箏曲院所属、師範。沢井忠夫合奏団団員。京都教育大学附属京都中小学校、箏講師。

横山佳世子（箏）大阪府出身。東京藝術大学を経て同大学大学院修了（同大学音楽学部在学中、常英賞受賞）。NHK邦楽オーディションおよび邦楽技能者オーディションに合格。日本－ウクライナ芸術文化祭1999にソリストとして参加他、海外公演多数。2000年に第1回リサイタルを開催（以後9回開催）。平成13年度大阪府舞台芸術奨励新人賞受賞。平成17年度文化庁新進芸術家国内研修生。平成20年度京都市芸術文化特別奨励者。平成20年度文化庁芸術祭賞新人賞受賞公益財団法人よりCD「生田流箏曲 横山佳世子」をリリース。これまでに、故藤井久仁江氏、故沢井忠夫氏、野坂操壽氏、沢井一恵氏、芦垣美穂氏らに師事。鳴門教育大学をはじめ後進の育成にも力を注ぐ。

林美音子（箏）3歳より、母・林美恵子に師事。柳川三味線の手ほどきを津田道子師から受ける。現代音楽を沢井忠夫師に師事。ポーランド文化芸術省・日本大使館の後援による公演、中国蘇州市外事弁公室国際交流センター招聘による公演など、国内外にて演奏活動を行う。2004年、京教育大学、音楽文化専修を卒業。2010年、文科省・文化庁による「子供のための優れた舞台芸術体験授業」補助講師。2011年、くまもと全国邦楽コンクールにて優秀賞受賞。（公財）日本伝統文化振興財団による「邦楽技能者オーディション」に合格し、合格記念CD「柳川三味線 林美音子」発売（victor）。同年11月、文化庁芸術祭参加公演「林美音子地歌リサイタル」開催。現在、京都教育大学付属桃山小学校「和楽器授業」講師。

麻植理恵子（箏）三歳より箏を始める。母・麻植美弥子に師事。現在、深海さとみ氏に指導を受ける。滋賀大学教育学部卒業。（社）京都當道会師匠。NHK邦楽オーディション合格。（財）滋賀県文化振興事業団「ザ・ファーストリサイタル2007」合格。リサイタル開催多数。第9回大阪国際音楽コンクール民俗楽器部門第3位、第12回「長江杯」国際音楽コンクール邦楽部門優秀賞ほか受賞多数。ジャンルを越え、N響アーティスト等、トッププロとの共演も多い。NHK等、テレビ・ラジオに出演。ゲストティーチャーを務めるなど、学校公演にも力を入れる。（財）滋賀県文化振興事業団主催次世代文化芸術推進事業参加アーティスト。ウクライナを始め国内外で演奏活動を展開。CD「十七絃箏 Rieko meets Aya」リリース。http://oekoto.web.fc2.com/

平田紀子（箏）大阪府出身。1994年宮城会全国箏曲コンクール児童部1位入賞。1997年JML日独青少年文化交流・ドイツ公演、日本公演に参加。2004年東京芸術大学音楽学部邦楽科生田流箏曲専攻卒業。在学中、宮城賞受賞。卒業に際し、アカンサス賞・同声会賞を受賞。卒業後、同大学大学院修士課程に2年間在学中退。生田流箏曲「宮城会」教師免状取得。2007年第4回東京邦楽コンクールで洗足学園賞受賞。2008年宮城道雄記念コンクールで1位受賞。2008年第15回賢順記念全国箏曲祭コンクールで銀賞及び福岡県知事賞受賞。深海さとみ師に師事。「宮城会」「深海邦楽会」「社）日本三曲協会」「同声会」「森の会」「折り鶴」「彩羽 いろは」「アンサンブル室町」「和楽団 煙」「鳳雛」「あいおいの会（和楽器オーケストラあいおい）」に所属。

渡邊香澄（箏）東京都出身。4歳より箏を大島博子氏、大島菜穂子氏の両氏に師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科生田流箏曲専攻卒業。文化庁新進芸術家国内研修制度の研修生として、作曲を肥後一郎氏に、25絃箏を野坂操壽氏に師事。2006年、2008年にリサイタルを開催。2007年第14回賢順記念全国箏曲祭　全国箏曲コンクール銅賞受賞。NHK邦楽オーディションに合格。NHK-FM「邦楽のひとつ」に出演。2009年よりソロライブ、ピアノの田村野安とのデュオライブを不定期で開催。現在ソコでの演奏の他、様々なジャンルの楽奏とのセッション、レコーディングに参加するなど積極的に活動している。宮城会、森の会、同声会、楽音会に所属。

中村あゆみ（箏）生田流宮城社教師。東京芸術大学音楽学部邦楽科卒業。箏・三絃を永田文子、深海さとみ両氏に師事。1998年第16回全国小・中学生箏曲コンクール牧本賞を受賞。同コンクール中学生個人の部最優秀賞を受賞。1999年ひろしまフェニックス賞、広島県メイプル賞を受賞。宮城会主催コンクール演奏部門児童部1位。9年9回くすのき芸文の里箏曲コンクール山口県知事賞を受賞。2003年第13回全国高校生邦楽コンクール第3位。2004年広島国際文化財団の中村音楽奨学金の奨学生に選ばれる。2008年宮城道雄記念コンクール演奏部門一般部第1位。大学在学中

「The Asian String Sound」韓国公演に参加。芸術大学生田岡悠生による「森の会」、「福山リーデンローズ（箏）アンサンブル」会員。現在、演奏活動をすると共に後進の指導にあたる。

西垣正信（ギター）1972年ニース市音楽大賞受賞。録音としてはCD「バッハリュート組曲全曲」「19世紀ギター音楽」「バロック愛楽曲集」「フランス、サンジャック教会コンサート」（株ファウエム）などがある。フランスニースギター夏期セミナーディレクター、マリアカナルス国際音楽コンクール審査員。作品としては「モノドラマ新古今和歌集」（英国ヨークカレッジ委嘱）などがある。

井上今日子（ソプラノ）大阪音楽大学声楽学科卒業。横田浩和氏に師事。ウィーン国立音楽大学で、リートをH.ドイチュ、発声をW.シュタインブリックの各氏に学ぶ。今春、青山学院での越谷達之助生誕100年記念コンサートに出演。日本歌曲とドイツリートを中心に活動中。Ensemble Klee-blatt（フルート・二胡・ピアノ）メンバー。関西歌曲研究会会員。

江戸聖一郎（フルート）京都市立芸術大学音楽学部卒業。フランス国立オールネイ・スー・ボワ音楽学校において、世界的フルート奏者であるパトリック・ガロウ氏に師事し、同校を審査員満場一致の一等賞を得て卒業する。現在、京都市立芸術大学大学院音楽研究科博士後期課程に在籍中。ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団フルート奏者。メガネ男性フルート奏者4名によるパフォーマンス・グループ、アンサンブル・リュネットのメンバー。

大西泰徳（チェロ）京都市立芸術大学音楽学部卒業。Ensemble-Akademie Freiburg 2006に参加しensemble rechercheに室内楽を師事。関西を中心にフリーの奏者としてソロ、室内楽、オーケストラで活動。またclumusica<クラムジカ>やJCMR KYOTOなどの現代音楽演奏団体と共に現代音楽の演奏にも積極的に取り組んでおり新作初演も数多い。これまでに岩谷雄太郎、上村昇、Tamas Vargaの各氏に師事。現在、大阪音楽大学演奏員、神戸女学院大学オーケストラ客員。

中村公俊（ヴァイオリン・ヴィオラ）京都市立音楽高等学校(現、京都市立京都堀川音楽高等学校)を経て、京都市立芸術大学音楽学部卒業。同大学院器楽専攻修了。神戸大学人間発達環境学研究科博士課程の研究生として、ヴァイオリンの指導法についての研究を行う。これまでにヴァイオリンを香西理子、片山晶子、岸邊百雄、四方恭子、ヴィオラを山本由美子の各氏に師事。妹、仁美とのDuo bel Sognoとしての活動のほか、オーケストラや室内楽でのヴァイオリン、ヴィオラ双方の演奏だけでなく、現代音楽や新曲の初演、録音も行っている。また、栗東芸術文化会館さくらジュニアオーケストラ・アカデミーで後進の指導にあたっている。京都音楽家クラブ会員。

中井絵理（クラリネット）滋賀県立石山高等学校音楽科を経て、京都市立芸術大学卒業。第12回日本クラシック音楽コンクール全国大会にて審査員特別賞受賞。第4回クラリネットアンサンブルコンクールA部門入賞。第6回滋賀県新人演奏会管・弦打部門優秀賞。第23回ヤマハ管楽器新人演奏会に出演。クラリネットを山川すみ男、高橋知己の両氏に師事。現在、ソロや室内楽、オーケストラで演奏する傍ら、吹奏楽の指導など後進の育成にも力を注いでいる。

招待作品・作曲家(compositions&Composers)

陳錦標（作曲）1962年生まれ。1995年より香港大学で教鞭をとる。現在、准教授。180曲以上の作品を創作し、多くのメディアに編曲もしている。作品はユネスコ、ISCM世界音楽の日々、国際コンピュータ音楽会議、アジア作曲家連盟音楽祭、香港芸術祭、ニュージーランド国際芸術祭、アジア・パシフィックハーモニカ音楽祭、大阪国際室内楽コンクールなどで演奏されている。現在、香港作曲家連盟及びアジア作曲家連盟会長。

廣瀬量平（作曲）1930年7月17日北海道函館市生まれ。北海道大学教育学部卒業後、東京藝術大学音楽学部作曲科入学。池内友次郎、島岡譲、矢代秋雄に師事。1961年、同大学専攻科修了。1977年、京都市立芸術大学音楽学部教授。同大学音楽研究科長、音楽学部長を歴任。1996年、同大学定年退職。ザルツブルク・モーツァルテウム音楽院講師、ドイツ・エッセン音楽大学講師、国立音楽大学講師、同志社女子大学大学院講師、東京芸術大学講師も務めた。1984年より1988年まで日本現代音楽協会委員長。2000年より2004年まで京都市立芸術大学伝統音楽研究センター初代所長。2005年より京都コンサートホール館長。2008年11月24日京都で逝去。

松下功（作曲）東京藝術大学、同大学院修了。ベルリン芸術大学に留学し、以後1986年までベルリンに滞在し創作活動を行う。86年、第7回入野賞受賞。1998年に長野冬季オリンピック文化プログラム・オペラ「信濃の国・善光寺物語」、や、開閉会式選手入場の音楽を作曲。2000年、和太鼓協奏曲「飛天遊」が、ベルリンフィル・サマーコンサートで演奏され講評を博す。1999年より2004年までアジア作曲家連盟会長を務める。現在、東京藝術大学演奏藝術センター教授。

朴銀荷（作曲）1970年生まれ。淑明女子大学校(93)及び同大学院(95)卒業。東京芸術大学大学院修了(99)。エリザベト音楽大学大学院博士課程修了(06、音楽博士)。Choi Seung-Joon,松下功、近藤譲の各氏に師事。ソウル交響楽団、東フィル、新日本フィル、城南市立交響楽団などで上演。特に 人間内面の心理変化に興味を示す。日本留学中、AHN Ik-Tae 作曲賞、第71回日本音楽コンクール1位、安田賞、創業会コンクール1位、ソウル音楽祭、エリザベト賞、名古屋文化振興賞、吹田音楽コンクール、など入賞。また、牧田財団、アサヒ文化芸術財団、淑明財団から支援を受ける。2009年ISCM世界音楽祭(Sweden)、2010年Deutsche Oper Berlin委嘱作品、2011年第29回ACL音楽祭(台湾)で上演。現在、秋季芸術大学、韓英神学大学講師。

カルロ・フォルリヴェジ（作曲）イタリアの作曲家、演奏家、研究者。ボローニャ音楽院、ミラノ音楽院、国立ローマ聖チエーリア音楽院に学ぶ。フランスのIRCAM,デンマークのDIEM、文部科学省政府給費生として東京音楽大学、フルブライト奨学生でノースウェスタン大学で研究。多数の受賞のほか日本伝統音楽と舞踊、アイヌ音楽を含む分野で研究を重ねた。作品は世界各地の音楽祭、劇場で定期的に上演されている。オーケストラ、合唱、室内楽、舞踊音楽、電子音楽、日本伝統楽器のために作品が書かれている。東京藝術大学、パリの国立音楽院、ソルボンヌ大学、アトレイド大学、メルボルン大学で講演。現在、イタリア国立カリヤリ音楽院教授。

参加作品・作曲家(compositions&Composers)

池上敏（作曲）　東京芸術大学音楽学部作曲科卒、同大学院音楽研究科作曲専攻修了。作曲の手ほどきを村田英夫氏に受け、後故池内友次郎、故矢代秋雄、故松村禎三、永富正之、間宮芳生、他各氏に師事。京都市立堀川高等学校音楽科（当時）教諭、京都市立芸術大学音楽学部非常勤講師などを経て、現在国立大学法人山口大学教育職員。日本作曲協議会会員、作曲家グループ深新會関西会員。室内楽を中心に作品発表多数。

和泉耕二（作曲）1947年　宮城県石巻市生まれ。1974年国立音楽大学大学院修了。高田三郎、廣瀬量平、島岡譲、鶴崎庚一の各氏に師事。現在、大阪音楽大学教授、京都市立芸術大学講師。日本現代音楽協会、日本作曲家協議会会員、オーストラ・プロジェクト同人。

岡田加津子（作曲）神戸生まれ。東京藝術大学作曲科卒業、同大学院修士課程修了。在学中に、九州ギター現代音楽祭作品部門、最優秀賞受賞。2003年バロックザール賞受賞。これまでに20余曲の楽譜と7タイトルのDVD作品が出版されている。現在はミニシアター（身体と音楽）、ミニシネマ（映像と音楽）シリーズの制作に力を注ぐ一方で、リズムミック・パフォーマンスのワークショップを全国各地で行っている。現在、京都市立芸術大学准教授。京都在住。近年の主要作品：「リズムミック・パフォーマンス2、～作品集～」(2008、マザー・アース) ヴァイオリンのための無言歌「母へ」(2009、マザー・アース) ミニシネマNo.4「桜月」(2009、映像＋ギター、Phil.film) ヴァイオリン、クラリネット、ピアノ（鍵盤ハーモニカ持ち換え）のための「ACTING ETUDE」(2010) 岡田加津子オフィシャルサイト　http://www.kazuko-okada.com/

大慈弥志麻（作曲）相愛大学音楽学部作曲専攻卒業、同大学研究科修了。岐阜県立情報科学芸術大学院大学タイムベースドメディア研究生修了。各地での上演、楽譜出版、CD収録の他、様々なセミナー、コンサート企画・プロデュースも盛んに手掛けている。相愛大学講師、日本現代音楽協会会員。emmaojimi07@iamas.ac.jp

熊谷美紀（作曲）大阪生まれ。京都市立芸術大学音楽学部作曲専修卒業。同大学院修士課程修了。故廣瀬量平、北爪道夫、前田守一、藤島昌壽、山田光生の各氏に師事。関西を中心にドイツ、オランダなど国内外で作品が演奏されている。大阪成蹊短期大学専任講師、大阪音楽大学非常勤講師。川西音楽家協会、深新會関西会員。近年の主要作品：ミュージカル「十二支ものがたり」、ミュージカル「川西の金太朗」、「遠砲〜パーカッションを伴ったマリナバのための」、「デュオII〜2人の打楽器奏者のための」

清水慶彦（作曲）大阪芸術大学芸術計画学科を経て京都市立芸術大学作曲専攻を音楽学部賞・京都音楽協会賞を得て卒業、同大学派遣制度によりブレーメン芸術大学に留学。2009年京都市立芸術大学大学院博士課程修了、黛敏敏作品の研究論文により博士号（音楽）取得。2010年作品集CD「六相円融」（studio N.A.T）をリリース、「レコード芸術」誌にて推薦盤に選定されるなど好評をえた。CD「楽しいベビーサイン」（日本ベビーサイン協会）、アンサンブルリュネットCD（2012年4月頃発売予定）への楽曲提供、著書「黛敏敏の電子音楽」（共著、川崎弘二編）、「黛敏敏の世界」（共著、西耕一編）等をてがけている。現代音楽グループ「クラムジカ」共同主宰、JCMR KYOTOメンバー。現在、京都市立芸術大学音楽学部非常勤講師、同志社女子大学音楽科嘱託講師。これまでに松永通温、藤島昌壽、松本日之春、前田守一、中村典子の諸氏に師事。

中村典子（作曲）滋賀県草津市に生まれる。京都市立芸術大学音楽学部作曲専修卒業。京都音楽協会賞受賞。同大学院修了。大学院賞受賞。在学中ブレーメン芸術大学へセメスター派遣留学。故廣瀬量平、北爪道夫、前田守一、藤島昌壽、田島亘、故H.J.カウフマン、G.アミの各氏に師事。日本、韓国、中国、アメリカ、メキシコ、ドイツ、フランス、スイス、オーストリア、スペイン、ノルウェー、スウェーデン、フィンランドの13カ国各地で作品上演。7回の個展。1991年ハイデルベルクで自作等講演。95年国連憲章50周年記念UNited We Danceでのサンフランシスコオペラハウス公演に招聘された。97年 第1回小倉理三郎音楽奨学金受給者。2001年京都市芸術新人賞受賞。Artist in residence in "die H?ge(Syke)".国際女性作曲家会議(ドイツ)。2008年より京都芸術センター運営委員。平成22年度滋賀県文化奨励賞受賞。2009年ACL(韓国) 入選。2011年 (台湾)入選。日本現代音楽協会、日本作曲家協議会会員。clumusica共同主宰。コチの会・東風同人。現在、京都市立芸術大学准教授。http://nakamura89.exblog.jp/

増田真結（作曲）京都市立芸術大学を卒業（音楽学部賞、京都音楽協会賞）、及び同大学院音楽研究科修士課程を修了（大学院賞）。在学時、明治安土クリティオブライフの奨学生に選出、課題課程に在学中にはドイツ・ブレーメン芸術大学へ交換留学。現在、同大学大学院音楽研究科博士（後期）課程に在学中。これまで、第10回東京国際室内楽コンクール第3位入賞、第23回現音作曲新人賞受賞、第15回及び第18回奏楽堂日本歌曲コンクール一般の部第2位入賞、第78回日本音楽コンクール作曲部門入選。ドイツSyke市における、音を使ったインスタレーションの展覧会<Klangin-stallation>に作品を招待出品。これまでに作曲を港大専、青島広志、佐藤眞、松本日之春、前田守一、中村典子、ヨンギ・バクバーン、岡田加津子の各氏に師事。日本・ロシア音楽家協会会員。clu-musica共卒、邦人作曲家作品の研究と普及を目的とするJCMR KYOTOメンバー。神戸女学院大学非常勤講師。

南川弥生（作曲）大阪音楽大学作曲専攻卒業、同大学専攻科終了。第5回マルセルジュス国際作曲コンクール第2位入賞など。その作品は、日本、ヨーロッパ、中国、カナダで演奏されている。大阪音楽大学講師。日本現代音楽協会、日本作曲家協議会,日本女性作曲家連盟等各会員。国際音楽協会理事。出版楽譜：「月秘」sax、箏、打楽器「水秘」独奏箏など多数（マザー・アース出版）。

若林千春（作曲）東京芸術大学作曲科卒業、同大学院作曲課程修了。日本音楽コンクール作曲部門（オーケストラ作品）第1位・安田賞を受賞。第1回東京文化会館舞台芸術作品募集最優秀賞。2001年東京文化会館舞台芸術フェスティバルにて舞台作品が初演される。現代音楽セミナー&フェスティヴァル「秋吉台の夏2006?2011」の招聘講師として、講演「『うつ』概念による作品と創造」をおこなう。現在までに9回の作品展を開催。委嘱作品の初演再演多数。「UTU」＝「なにもないこのすべて」をコンセプトに創造活動を展開中。作品は東京フィルハーモニー・東京交響楽団・札幌交響楽団・東京混声合唱団・東京少女少女合唱隊・合唱団 響・松原混声合唱団などにより国内で演奏されているほか、　"ジャパン フェスティヴァル イン UK、など世界各国にて演奏され、CD・楽譜がリリースされている。東京藝術大学および同附属高校講師を経て、現在、滋賀大学教育学部教授。平成19年度滋賀県文化奨励賞を受賞。http://homepage3.nifty.com/wakabayashichiharu/

渡辺さとみ（作曲）大阪音楽大学附属音楽学園にてソルフェージュ教育を受け、その頃より作曲を始める。大阪音楽大学作曲専攻作曲学科卒業。同大学大学院作曲研究科修了。鈴木英明氏に師事。秋吉台国際20世紀音楽セミナー参加。京都フランスアカデミーにおいてG.AMY氏のレッスンを受講。吹田音楽コンクール、名古屋文化振興賞ほか入賞・入選。現在、大阪音楽大学作曲非常勤講師。日本女性作曲家連盟、作曲家集団Se.所属。出版楽譜：＜Pleiades＞ーfor pianoー、＜Solo＞ーfor fluteー（マザー・アース出版）